

# 季刊 アベニュー vol.282

# Avenue

**秋** **最終号**  
2024

発行●アベニュー編集委員会  
090-4438-6876 FAX. 5631-9614  
http://sumida-avenue.com



いつき  
臼井 樹希くん(2021年12月28日生まれ)  
乗り物好きで、散歩好きの元気すぎる子です。  
体力おぼけでこっちが疲れちゃうくらいです。  
もう少し大人しくなってくれば…(笑)

◆東京新聞取り扱い販売店様、産経新聞区内全販売店様から新聞折込みをさせていただきました。

## OPEN すみだ保健子育て総合センター



2024年11月5日(火)に横川5丁目に墨田区民待望の「すみだ保健子育て総合センター」がオープン!!  
2016年6月に「墨田区基本計画」が策定され、2017年9月「新保健センター等複合施設整備基本計画」が具体的になりました。場所は横川5丁目の警視庁第二機動隊（ゼロメートル地域の水害・水難対応の機動隊、江戸川区臨海町へ移転）の約5,330平方メートルの跡地に保健所を含む総合施設の建設が決定をしました。  
東京都下水道局の工事の関係で少し遅れて2022年に本工事に着工。  
向島保健センター、本所保健センターの両保健センターの老朽化もあり新たな保健センター開設が長い間の懸案でその夢が現実になりました。  
すみだ保健子育て総合センターは4階建ての延べ床面積約9650平方メートルの広々と明るい建物、総工費約50億円(什器備品を除く)です。  
健康づくりに向けた課題、感染症に伴う健康危機管理等、保健、子育て、教育が相互につながり、すみだ保健子育て総合センターに足を運べば健康、子育て、教育に関する相談が出来ることは、区民にとって待ち望んでいた施設であり、子育て世代の安心感につながることでしよう。

### 各階ご案内

《1階》総合案内、区民ラウンジ、多目的ホール、健診・相談エリア



相談事を各窓口に繋げてくれる相談案内受付。まず、お声掛けを。健診相談エリアでは、乳幼児健診や専門職による各種指導、講習会、相談業務に対応。歯科診察室、計測室等の完備してい

ます。  
ベビーカー置場、授乳室も用意されています。区民ラウンジはゆったりと寛げる空間です。

多目的ホール等では、発災時の支援物資の受け入れと各地域への分配支援の場として大切な役割を担います。

《2階》保健所 8時30分～17時

母子保健、成人・精神保健、感染症予防接種、環境衛生・食品衛生に関する保健所業務と区役所の保健部門の全てが集約されています。



相談室エリアはプライバシー保護に配慮した個室が多数完備しています。

《3階》教育センター

9時～17時 教育相談は土・日も開設



教育や就学に対する様々な悩み解決の総合的教育相談の窓口を設置。不登校支援、居場所作り学校復帰に向けて、個人に合わせた具体的な支援をします。ステップ学級、サポート学級の教室が揃っています。面接室、会議室、大きな研修室は各種研修・講演会の他に教員スキルアップのための研修会を実施します。教科書展示室等

《4階》子育て支援総合センター 9時～18時



子育て支援の拠点として、安心して子育てが出来る環境づくりを基本に子育ての悩み等を気軽に相談出来る、親子の交流と親同士の情報交換が出来るスペースも充実。イベント等も実施されます。京島の子育て支援総合センターが移転します。

すみだ保健子育て総合センターは感染症対策として空気の循環にも特段の配慮がされ、全体的に先進ユニバーサル対応と省エネ対応となっており、シンプルでモダンなつくりです。

屋外敷地は駐車場、駐輪場、バイク置場もあり、墨田区には、ゆったりとしたスペースが少ない施設や会館が多いのですが、すみだ子育て保健総合センターは広々としていて、アール形のベンチはホッと想える場にもなっています。

■住所/〒130-8628 墨田区横川5-7-4  
電話/保健計画課 ☎03-5608-6189(代表)  
生活衛生課 ☎03-5608-6939(代表)  
保健予防課 ☎03-5608-6191(代表)  
健康推進課 ☎03-3622-9163(代表)  
教育センター ☎03-3622-1128(代表)  
子育て支援総合センター ☎03-3622-1150(代表)

平日は区内循環バスすみまる君の南部ルートで、「すみだ保健子育て総合センター前(横川コミュニティ会館前)」に停車します。

Avenue創刊号では、錦糸町再開発事業(後にアルカタワーズ錦糸町は、墨田区の玄関としての顔に)を特集。最終号は、墨田区の大プロジェクトの「すみだ保健子育て総合センター」の特集で終わることが出来ました。すてきな愛称が付けられると良いですね。

© TOKYO-SKYTREE

東京スカイツリー® ライセンス取得品

東京スカイツリー® すみだから世界へ

創業 慶応二年 (1866年)

**(株) 正本 総本店**

〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋1-6-5  
☎03(3622)6356(代)

**Zipangu hair&esthetic**

いつもご覧頂き ありがとうございます。

これからもZipanguグループをよろしくお願ひいたします。

創刊から30年 お疲れ様でした★

本店営業時間  
平日 am10:00～pm7:30  
土 am 9:00～pm6:00  
日・祝 am 9:00～pm5:30  
(営業時間は店舗ごとで変わります)

みずほ銀行 四ツ目 押上駅  
浅草 浅草通り 三菱銀行 通リ 明治通り  
半蔵門線 押上駅出口  
↓ 錦糸町駅

■ 押上  
ジパング本店 ☎3621-0444  
エステルーム ☎3829-4744  
ララ ☎6661-8030

■ 曳舟  
インスパイア ☎3610-6959

★ご予約優先★

**川柳 コーナー**

・センリユウが マンリユウとなる 異時代へ?!  
・日本も 笑いを復活 世界へと!!  
・世界観 捨てたものではない 日本人!!  
・世界から 見直しふえた 親光客!!  
・この覧も 失われゆく さびしさよ!!

黄昏昏兵衛又継 直井高一郎作



### ご挨拶 Avenue 白井 征子

「すみだの皆様のお役に立つ、保存して頂く情報紙」として産声を上げ、3大紙に折込55,000部発行でスタートをして足掛け30年。紆余曲折、艱難辛苦を乗り越えて参りました。

創刊号はバブル経済が破綻し、錦糸町駅前再開発事業に対する区民の懸念を払拭するために「錦糸町改造計画だいま進行中!」を特集。4ページは区内の施設等をカテゴリー別に連載や安政時代から昭和32年までの地図も連載、1997年8月号から「わがまち すみだ」シリーズで26の町を北から毎月ご紹介。このシリーズで多くのご縁や知己を頂き、Avenueの基礎となりました。すみだの情報紙にこだわり、区内の施設、地域活動、人に焦点を当てて、◎年男・年女特集、◎ピッカピカの一年生、◎只今!青春すみだの大先輩、◎いつも仲良く、ず〜と仲良しの金婚式カップル、◎頑張る企業人等、ご登場はグループを含めると5,000人以上に。

2000年12月号で、墨田の100年の歴史を振り返り、0歳の赤ちゃんから100歳の方をご紹介。2006年3月15日に新タワー誘致が決定、2009年9月号から写真家 高田行備氏にお願いし毎月、新タワーの成長を定点撮影(文花の自宅マンション7階)、2010年8月号から電子版発行、2011年12月号からフルカラー化、2016年夏号から季刊紙に。そして、今号を持ってその歴史に幕を下ろします。

区内で活躍のミュージシャンが一堂に集う「Avenue音楽祭」を開催等、様々な企画ですみだの皆様楽しんで頂きました。

ご協賛広告、Avenue友の会(当初は支える会)のご支援のみで、掲載料は一切無料で発行、ご執筆を下さる皆様にもノーギャラで「すみだの善意の集合体」を貫いて参りました。

皆様に心から感謝を申し上げます。



### 感謝のこぼれ 墨田区長 山本 亨

Avenueは、1995年の創刊以来、本区を代表するタウン情報紙として多くの区民の皆さんに愛読されてきました。

このたび、30年を迎えるところで、その幕を閉じると伺いました。

この間、紙面を通じて多くの地域情報を発信されるとともに、地域で開催される様々なイベントにも、白井代表自ら積極的に参画されるなど活躍の場を大きく広げられ、本区の地域コミュニティの向上に多大な御貢献をいただきましたことに、深く感謝と敬意を表します。

Avenueといえば、手づくり感のある企画が魅力的で、誕生日を祝う小さなお子さんやご長寿の皆さん、さらには、若手企業家やアーティストの方々など、区民一人ひとりが主役として紹介されるその紙面には、温かいコミュニティの輪、白井代表の溢れるすみだ愛が、たくさん詰まっています、私も、いつも楽しみに拝読してきました。

特に、区長に就任した2015年、ちょうどAvenue創刊20周年にあたる年の6月号に、墨田区長として初めてご紹介いただき、たいへん嬉しく思ったことは、今でもよく覚えています。

最終号という節目にあたり、寂しい気持ちでいっぱいですが、Avenueが、紙面を通じて大切に育んできてくださった、人と人とのつながりは、これからも、すみだの大きな宝物として、着実に次世代に引き継がれることと確信をしています。

結びに、白井代表を中心に、本紙の作成にご尽力された皆様、ご協賛・ご協力いただいた関係の皆様へ心から感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

本当にありがとうございました。

### のぼらちゃん最終回(246) イクエ



10年後のズミダは どうなってるかな? みんな 飛べたりして♡

26年間 読んで下さって 本当に ありがとうございます! みんな 笑っているといいネ!

皆様 お元気で!

## 皆様、お世話になりました。ありがとうございます。



#### 平野 守助さん

1996年6月号のわがまちシリーズ「吾妻橋」で地域の絶大な信頼を担う平野さんにお会いし、(株)正本総本店様の広告掲載を賜り最終号迄ご支援を頂きました。継続の為に「支える会」発足にもご尽力、様々なご支援を頂きました。平野さん抜きにAvenueの存続はありません。95歳変わらぬ優しい笑顔です。



#### 佐山 茂吉さん

2000年6月号、荒川春子さんのご推薦での取材がきっかけでZIPNGU様の広告掲載に。「友の会(支える会名称変更)」の会長をお引き受け頂き、20周年記念音楽祭の実行委員長として多大な尽力を下さいました。すみだ一番の美容室として評価も高く、娘も孫も孫のお嫁さんも一族でお世話になっています。



#### 澁谷 哲一さん

2015年、東京商工会議所墨田支部の新年会で始めてご挨拶をして、東京東信用金庫(ひがしん)様にAvenue20周年記念音楽祭のご協賛をお願いして、即ご承認下さり、併せて本紙に定期広告掲載を。地域密着の金融機関として名実ともに実証を。庶民的でパワフルなお嫁はすみだの活力の大きな一端です。



#### 金子 裕幸さん

2012年8月にNHK企画の区内をGPSで1,000人のリレーをして葛飾北斎の「和うさぎ」描き番組制作の際に案内役となり、高木神社の総代の金子さんにお会いして世界一の切刃物製造会社 (株)金子製作所様の広告ご支援の他、様々なご協力を賜り、ドンアルマスのすみだ応援団会長、町会長とご多忙です。



#### 一栞 靖人さん

2012年5月号で都内初の試み「宿泊体験型モデルルーム」として取材をさせて頂いた明暦3年ご創業の(株)駿河屋様。その後、広告協賛に繋がりました。地域活性と歴史と伝統を大切に向島で367年「快適な住まいと環境」をテーマに高い見識を持ち、稲作、畑作りも毎年企画する素敵な山男です。



#### 田口 典彦さん

2017年秋号で向島交通安全協会の田口会長を取材させて頂き、区民の安全安心のために「交通事故撲滅を目指す」活動を読者にお伝え出来ました。その後(株)凌雲ホールディングス様の広告掲載の支援の他、様々な場での声掛けとご支援を頂きました。謹厳な古武士の風格を持ったたずまいの紳士です。



#### 坂本 康治さん

1995年の創刊号特集「錦糸町改造計画だいま進行中!!」で人生初の取材を。当時、担当係長さんでレコーダ操作もままならない状態でも毎回、親切に対応して下さいました。その後、異動の度にステップアップされ、沢山のアドバイス頂きました。現在は(株)アルカワーズ社長のご重責です。



#### 山口 あい子さん

紙上で「支える会」の会員募集に賛同頂き入会のご希望を。その後、まちなかでお会いして、「この方が山栄電工(株)の山口さん!!」と一面識も無かったのに強いご縁を感じました。税務を初め高い見識をお持ちだけでは無く、すみだ愛に溢れ、一番苦しい時に物心ともに多大なご支援を頂きました。



#### 山中 みどりさん

1998年9月号「わがまちシリーズ“本所”」の取材で地域を愛する姿に感動、地域プラザ本所BIG SHIPの立ち上げのために尽くしたパワーは今も語り草になる程です。そして多大なご支援とご協力も頂きました。地域の拠点、音楽ホールは正にオアシス。すみだNo.1女性としての笑顔と実力は宝です。



#### 阿部 貴明さん

2006年6月号「元気印のすみだの企業」シリーズで丸源飲料工業株の代表として取材を。創業は1916年の老舗で、最高品質の飲み物の製造販売を。墨田区観光協会会長として東京スカイツリー開業に際しては特段のご尽力をされました。本紙も多大なご支援を賜りました。現在東京商工会議所副会長です。



#### 荒川 春子さん

創刊号発行と同時に「すみだにこんな情報紙が欲しかった!!」と、ご連絡下さった第一号の愛読者です。塾を経営しながらお花の教室、料理教室も開催の秘めたるパワーは計り知れない方です。本紙に長く連載下さる「世界の家庭料理」も人気です。沢山の方とご縁を繋ぐ橋渡しもして頂きました。



#### 伊藤 林さん

本紙発行後間もなく、荒川春子さんにご紹介を頂き、大変お世話になりました。石原のまこく湯の御大将で環境問題の第一人者、障害者ボランティア、町会長等多彩な活動を続け、「Avenueが無くなったら困るから…」と変わらぬご支援を賜りました。4人の娘さん家族とお孫さんに囲まれています。



#### 佐原 滋元さん

1997年10月号わがまちシリーズ“東向島”を取材を。「向島百花園」の創設者の直系で園内の「茶店」「お成り座敷」の御大です。多様な地域活動をされ、博識と人脈の広さと庶民的な笑顔はすみだの誇る文化人。地域の歴史を語る貴重な存在です。すみだが舞台の映画を発掘、上映会開催に傾注を。



#### 坂井 紘彌さん

創刊直後に、「防災団地に地域活動の達人が居る!!」の情報で即対面して以降、家族でお付き合いを。東白鬚公園で四季を通して様々なイベントをお一人で企画運営、多くの来場者で好評でしたが今は公園使用が不可となり忸怩たる思いでしょう。奥様に本紙発送の際の助っ人をお願いしています。



#### 西村 孝幸さん

2002年3月号に東京都認証保育園として開園の「小梅保育園」をご紹介。娘さんの為に理想的な保育園を作りたいとの熱意とお人柄に賛同して地域愛に溢れる仲間と区議会議員に推薦、2期8年間を墨田区議として活躍され、その後は都全般の保育行政を担うお立場に。子ども愛する眼差しに敬服です。



#### 角田 妙子さん

きっかけは、25年以上前に区のイベントにご一緒した時でした。子どもから高齢者まで全ての方に愛される様々な活動をされる地域の母です。本紙応援団としてのご支援と活動のお声掛けを頂き、楽しいひと時を共有させて頂きました。お訪ねする度にくださる花々が我が家を明るくしてくれました。



#### 島田 敏子さん

2000年10月号「ガンパのお店特集」で東向島にオープン1年の甘味処「みづき」さんをご紹介、以来ご支援を頂き情報交換と楽しいお喋りを。お味、醸し出す雰囲気ともにすみだNo.1です。各種の展示会の他、サロンとして人気も高く写真・絵手紙・折り紙・歌と趣味も人脈も多彩で人を繋ぐ名人です。



#### 高田 静さん

1998年9月号のわがまち「本所」でご主人の写真家・高田行備さん(故人)を静夫人経営の「ポピー」さんで取材。素敵なお喫茶店は居心地良く、週に何度も通って苦労話等を聞いて頂きました。地域のオアシスで情報交換の場は沢山の新鮮情報も知る事が出来ました。今はご長男がお店を引き継いでいます。



#### 野本 郁栄さん

1998年8月号から本紙に「のぼら」ちゃんが登場!!作者は業平在住のイラストレーターのイクエさん。文字と写真にワンポイントが必要とご提案を頂き実現しました。ご夫婦で点字用紙を活用して考案の「マージナルアート」は数々の賞を受賞、区内のイベント等でワークショップを開催して人気です。



#### 斎藤 和子さん

2004年2月号で業平に税理士事務所を設立された斎藤先生をご紹介。4月号からAvenueメッセージの「知って得する税情報」の執筆を激務の間を割いてご連載して下さいました。難しい税のお話を時機に合わせて分かりやすく、皆様のお役に立てた事と思います。当方の確定申告等もお任せしております。



#### 直井 高一郎さん

1995年に世の矛盾を怒る「赤い顔運動」を立ち上げた際に取材を。(株)アクセサリーマルタカの代表としてご盛業の傍ら「世の中を変えたい!!」と警鐘を鳴らし続けて来ました。本紙にも特段のご配慮を賜り、2005年10月号から「アベニュー川柳」を掲載。赤い顔が益々赤くなるのを嘆いておられます。



#### 桜庭 伸弘さん

10年前に錦糸町のライブハウスでDON ALMASに遭遇。音楽性の高さと人間性溢れるトークの中に文才を感じて本紙への執筆依頼を。2014年3月号から「夢の旅路」連載がスタート。2017年、太田市から東京進出を機に墨田区民に。Avenue一番の功績は、桜庭さんをすみだに呼んだ事!!と…本当です。



#### 高野 祐次さん

2016年夏号から季刊紙に移行メッセージコーナーを新設。ご多忙の墨田区の高野副区長に執筆依頼を。高野さんのすみだ愛と歴史研究の深さがご快諾に繋がりました。すみだの産業、観光部門でのご活躍の中、沢山のアドバイスを頂きましたのも楽しい思い出です。現在はKFO(株)の社長としてご重責です。



#### 中田 清史さん

東京東信用金庫<ひがしん>の中田理事長。多大なご支援を頂戴して感謝にたえません。いつも優しい笑顔で接して頂いています。2018年の秋号からビジネスチャンスに繋がる貴重なメッセージをお寄せ下さり地域密着型の金融機関として確固たる社是を強く感じます。DON ALMASへの応援にも感謝です。



#### 関 真由美さん

フェイスブックで子育てに関するコメントを拝見して、こんなに素晴らしいユニークな子育てをする方に是非、「Avenueメッセージ」にご執筆をお願いしたい!!と直談判を。ご夫妻でデザイン会社を営む、大学で教鞭をとる多業の中、わが子とすみだの全ての子ども達に対する愛情に頭が下がります。

<トリビアすみだの歴史!!を探ろう>



◎墨田区誕生の歴史と今

～連載を終えるにあたって～

墨田区は、地図を見てわかるように、江戸の早い時期から縦横に整備された街並み特徴の本所地域と江戸市中に野菜などを提供する近郊農村がそのまま市街地化され、曲がりくねった道が残る向島地域できています。区の概要を紹介する際に「隅田川と荒川に囲まれた東西約5km、南北約6kmの面積約13.77㎡の区です」と言われますが、現在のこの形ができたのはそれほど古くなく、大正末期から昭和に入った頃なのです。

その始まりは、度重なる洪水被害に見舞われたことにより、荒川放水路の開削事業が計画され、明治44年に着手されたことです。そして、開削がほぼ完成し、全体に通水するのが大正13年で事業全体が完成するのが昭和5年です。この事業で北部の向島地域にあった村が一つなくなり、水の底に沈みます。向島地域は、南葛飾郡に属して、明治初めには14の村があり、その後明治22年に隅田、寺島、大木、吾嬬の4村に集約されますが、荒川放水路の完成で大木村がなくなり、隅田村も多くの面積を放水路に割かれ現在の形となります。そして3つの村が町となり、昭和7年に向島区が誕生します。

一方、南部の本所地域は、向島区ができる54年前の明治11年には東京府15区の一つ、本所区となります。その範囲は今よりも狭く、西は隅田川、北は北十間川、東は大横川、南は堅川に囲まれた一帯が中心で、堅川以南や亀戸天神まで伸びる地域もありました。その後、町名変更や区割整理などを経て大きく拡張、大正に入った頃にはほぼ現在の範囲に、昭和4～5年の区画整理により24

の町となります。

この本所区と向島区が合併して墨田区が誕生したのは東京府（昭和18年に東京都となります）全体の再編・統合の中で行われたという経緯があります。東京府のなかの東京市は15区から、昭和7年に向島区とともに20区が誕生し、35区の大都市となります。昭和16年に始まった太平洋戦争によって本所区、向島区を始めとする東京大都市地域は度重なる空襲に見舞われ、壊滅的な被害を受け敗戦を迎えます。被害状況による人口減少や区の面積の大小によって、人口分布の不均衡や担税力の違い、区の権限強化などの観点から35区の区割りの再検討が必要となり、昭和22年に、向島区と本所区が合併して墨田区ができるのと併せて22区が誕生、翌年に板橋区から練馬区が分離・独立して23区となり現在に至っています。墨田区の名前は、本所・向島両区議会在議が検討し、江戸東京の名と共に広く親しまれている「墨堤」と「隅田川」から「墨田」の2字を選んで「墨田区」とすることに意見が一致、決定しました。

墨田区が誕生して今年で77年になりますが、この間住居表示法の改正により、昭和42年に現在の26町に集約され、丁目は102に細分化されました。平成2年に吾妻橋に総合庁舎ができるまで、区の拠点は第一庁舎（現第一ホテル両国）、第二庁舎（現生涯学習センター）に分かれていました。墨田区として最もインパクトが大きかったのが平成24年に開業した東京スカイツリーの誘致とそれに伴う北斎美術館建設を始めとした周辺のまちづくりです。これにより墨田区のイメージは大きく変わり、全国どこからでも知られる街となりました。人口もこの12年間で約44,700人増えました。住んでみたい、住み続けたい街になってきたのが今の墨田区です。 高野祐次

<ごあいさつ>



今年の夏は、昨年夏に並ぶ厳しい暑さとなっておりましたが、朝夕に吹く風が涼しくなり、ほんのり黄色や赤に色づいた葉や露をまとった草花で、少しずつ日々の暮らしの中にも秋を感じる季節となってきました。

2024年を振り返りますと、元旦から能登半島地震が発生し、その後も各地で起こる自然災害等に先行き不安を感じる一年でした。そのような中、大リーグ野球界では、ドジャーズの大谷翔平選手が54本塁打、130打点で日本人初の『二冠王』を獲得する大活躍で、連日、日本国内にも明るい話題をもたらしました。

さて、当金庫では、中小企業の優れた技術や商品を広く知ってもらい、新たなビジネスチャンスの創造を目指して、『第24回ひがしんビジネスフェア2024』を11月22日(金)に両国国技館で開催します。今年のビジネスフェアは、当金庫のお取引先はもちろんのこと、信用金庫のネットワークを活用して、全国26信用金庫のお取引先にも出展をいただいております。地域経済活性化の促進及びビジネスチャンスの創出による企業支援をいたします。また、ご来場されるお客さまも各展示ブースでお買い物やイベントなどを楽しんでいただける内容となっておりますので、たくさんの皆さまのご来場をお待ちしております。詳細につきましては、当金庫ホームページ『第24回ひがしんビジネスフェア2024』にてお知らせしてまいりますので是非、ご覧ください。『夢を夢で終わらせない信用金庫』として、多様化、高度化するお客さまの課題解決に向けて支援し、地域の持続的発展に貢献して参ります。 東京東信用金庫理事長 中田清史

<知って得する税情報>



◎森林環境税が令和6年度からスタート

～一人年額千円を市区町村が徴収～

令和6年度から森林環境税の課税がはじまります。令和元年度に税制改正で創設された国税で、税収の全額が森林環境譲与税として都道府県・市区町村へ譲与されます。課税は個人住民税均等割の枠組みを用い、一人千円を賦課徴収します。

東日本大震災の発生で防災施策の財源確保を目的に平成26年度から令和5年度までの10年間、均等割額に市区町村税、道府県民税でそれぞれ500円(合計千円)が加算されていましたが、同額の森林環境税で今までの税額には変更がありません。

この森林環境税が創設された背景には、平成30年5月に成立した森林経営管理法を踏まえ、温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組みであるパリ協定における日本の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備に必要な地方財源を安定的に確保する必要からです。

譲与税として都道府県、市区町村に譲与される税収は森林整備を実施する費用、人材確保等の費用に充て、その用途はHP等も利用して公表することが定められています。ただし森林の無い都市部の市区では税収を有効に活用が出来ない場合は基金として積み立てられます。

こうしたことを受けて令和6年度税制改正で譲与税の譲与基準のうち私有林、人口林の面積の譲与割合が5.5割(原行5割)、人口の譲与割合が2.5割(原行3割)に見直される予定で、人口比率は縮小します。

税理士法人 京葉合同事務所 代表 斉藤和子

<あそび大学の生みの親>



息子が小学校上がる前、保育園の担任の先生から、彼は協調性がなく、小学校では苦勞をするだろうと告げられました。意気消沈し、近所のカフェで注文を待つ間、手にしたのがAvenueです。そこに載っていたのが、墨田区内に2つ学童を運営しているNPO法人Chance For Allの中山 勇魚氏の記事でした。子どもの主体性を大事にして、あそびこそ最高の学びだと語っておられる記事を読み、この学童に息子を通わせようと決めました。保育園では禁止されていた「戦いごっこ」を許された息子は、まるで水を得た魚のように、イキイキと元気に学童に通うようになりました。戦いごっこがヒートアップし、毎日のように、ケンカに発展したそうですが、それでも、学童の先生は戦いごっこを禁止することなく、根気強く、改善点を子ども達に考えさせてくれました。そんな息子がいる日、「ねえママ。学童もうちみたいに町工場の素材でいっぱいしてくれない？」と頼んできました。聞けば、「学童には遊ぶ材料がない」と子ども達に責められている先生の姿を見て、心が痛んだと言うのです。これがきっかけとなり、中山 勇魚氏と交流を深めるようになりました。そして、中山さんと千葉大学の先生と我々夫婦と一緒に立ち上げたのが、墨田区の町工場の素材で、子どもたちが自由にあそぶ場『あそび大学』です。この度、あそび大学は第18回キッズデザイン賞の最優秀賞の内閣総理大臣賞を受賞いたしました。Avenueが繋いでくれたご縁のおかげです。だから、あそび大学の『生みの親』はここ墨田で長年、地元の情報を綴り続けてくださった、白井 征子さんののです。 関 真由美

すみだの野球少年をサポート!!



C-1 Baseball 代表 増田 俊輔さん

ご長男を含めると墨田に4代の生粋墨田人の増田さんは墨田区の少年野球チームで活躍、中学・高校と野球一筋。その後は理学療法士を目指して学び、理学療法士、スポーツ医学検定1級、キッズコーチ検定1級を取得して整形外科に勤務、その中で怪我をする野球少年に接し、基礎体力、怪我をしない身体作りの大切さを実感する中で、自社に野球練習施設を持つ、(株)いわき興業の山崎裕史社長とのご縁で「C-1 Baseball」の設立に繋がりました。一人から始まったトレーニング教室も、今では野球大好きの小中学生20人が身体づくりを基本に技術を学び鍛えています。体幹を鍛えて怪我をしない身体づくりで技術も目に見えて向上、野球少年が甲子園で活躍する姿に想いを馳せています。

墨田区の少年スポーツが野球だった全盛期には地域ごとにチームがありましたが、少子化や諸々の要素で野球少年が減っていますが、MLBで大活躍の大谷翔平選手の影響で野球の楽しさが改めて見直されつつあります。野球技術の向上だけでは無く、身体、筋肉の構造を学び怪我をしない身体作り、人格形成、チームワークの共有、そしてみんなで、わが町の野球少年の成長を応援して欲しい、そんな日が来るのを楽しみにしています。

■住所/墨田区東墨田2-9-8  
■月謝/6,000円(月4回・一回約70分)  
■連絡先/☎080-3524-9642(増田)  
mail cibaseball2020@gmail.com

Avenue 感謝のつどい with DON ALMAS

2025年 2月9日(日) 13:00開場 13:30開演

本所地域プラザ BIG SHIP (墨田区本所 1-13-4)

静かにお別れするつもりでしたが、愛読者の皆様と楽しいひと時を過ごさせていただきたいと思っております。

- 【会費】 3,000円 (軽飲食とDON ALMASの演奏込み)  
※乾杯後のお飲み物は、BIG SHIPオリジナルバーカウンターをご利用ください。(一品300円均一)
- 【定員】 80名様 ご希望多数の場合は抽選となります。
- 【お申込み】 お葉書で、お名前・ご連絡先・コメントをお知らせ下さい。  
〒131-0031 墨田区墨田5-14-9-502 白井征子  
☎090-4438-6876 mail: avenue@bell.ocn.ne.jp

新聞折り込みありがとうございました。

東京新聞 産経新聞 墨田区販売店様

長い間ご協力ありがとうございました。

心から感謝申し上げます。

Avenue 編集委員会一同

# 「夢の旅路」～ゆめたび～59

スパニッシュギターユニット  
DON ALMAS  
桜庭伸弘

これまで「ゆめたび」の連載を楽しみに読んで下さった皆様そして何より、30年にわたりすみだの皆様の生活の一助にまで発展したAvenueを創刊、作り続けて下さった臼井征子編集長に心からの感謝をお伝えしたいです。



の8月9日にすみだトリフォニー小ホールで開催、大成功のコンサートになりました。

こうして右も左もわからない墨田区で、大きな大きな最初の一步を踏み出す事ができたのは、紛れもなく臼井編集長のおかげです。

本当にありがとうございました。振り返ってみると、臼井編集長に初めてお会いしたのは、2010年8月墨田区の劇団檸檬座さんとの公演でした。公演終了後、お声がけ頂き名刺交換させて頂いた事を今でも鮮明に覚えています。

2010年といえば、当時住んでいた群馬県太田市で、今まで企画した事がない400席の会場に挑戦をして、見事満席を達成した年でした。その勢いのまま翌年は1000席の会場を確保して、大目標に走り始めた矢先の東日本大震災でしたが、初めての大ホール公演は大成功売上全額を被災地に送る事もできました。

そして2012年のニューヨーク単独ライブの後、墨田区の税理士さんご縁があり、その税理士さんが親身になって相談に乗って下さり、2013年4月1日墨田区業平で法人化。臼井編集長にご報告をした所「それならウェルカムコンサートを企画しましょう!」と言って頂きその年

法人設立から1年後のある日「アベニューでエッセイを書いてみない?」突然のご提案に戸惑いもありましたが、ドンアルマスを多くの方に知ってもらえるチャンスだと思い、未経験ながら、文章で思いを伝える世界に飛び込みました。そして、2014年3月号より「夢の旅路～ゆめたび～」の連載がスタート、季刊紙になってからも連載は続き、2024年秋、今号で59回目の寄稿となりました。この文章を書きながら、連載10年という時の中に、夢だったクルーズ船での演奏、国立劇場や数々の挑戦と達成、波乱と奇跡のドラマが詰まっています。まさに題名の通り「夢の旅路」でした。それぞれの「人生の旅路」はまだ続きますが、勇気と希望に溢れた素晴らしい物語にして行きましょう! 沢山の方ご縁を繋いで下さったアベニュー! そして紙面を通じて縁した全ての皆様に感謝です。

本当にありがとうございました!! 完

## QUICKING 世界の家庭料理

No.113 ロモ・サルタード/ペルー

すみだインターナショナルでは、在住外国人の方にお国の家庭料理を教える「世界の家庭料理講習会」を、2ヶ月に1回開催しています。

### ◆ロモ・サルタード

■材料: 5人分

- 牛ロース肉/750g
- フライドポテト/500g
- トマト/3個(厚めのくし切)
- 玉ねぎ/2個(厚めのくし切)
- ピーマン/4個(縦に細切り)
- ◆調味料
- 醤油、酢(あれば赤酢)/各大匙2
- にんにくのみじん切り/大匙1
- 塩・コショウ、黄唐辛子ペースト/少々
- sazonador(ペルーの辛い赤唐辛子パウダー)/少々
- 刻んだ生のコリアンダー/少々
- 赤ワイン又はブランデー/30~50ml
- 揚げ油 ●ご飯人数分

### 酢がポイント! ロモ・サルタード

日本の3倍強の面積があるペルー。地域によって気候や地形、伝統料理も違うそうです。私たちが普段使っているジャガイモ、トマト、かぼちゃ、ピーナツ、唐辛子はペルーが原産地でペルーを征服したスペイン人によって世界に広められました。



今回はこのジャガイモとトマトを使って中華料理と融合して生まれたペルーの伝統料理のご紹介です。

戦前日系移民は3万人にもおぼりニッケイ料理として料理も少しづつ受け入れられたそうです。同じく中国人の食文化も移民によってもたらされたのです。

料理のポイントは酢の使い方、切った玉ねぎに酢を混ぜておく事で肉を多く使ってもさっぱりとした味になります。揚げたポテトが入ってボリュームたっぷり、醤油と酢が効いた美味しいおかずが簡単に出来上がります。sazonadorは赤い色付けが目的でパブリカで代用可。辛さはお好みで加えて下さい。

ご飯が進むお料理、是非お試しを。

- ① ロース肉を厚めの棒状に切り、塩・コショウ・にんにく・sazonadorで下味を付ける。玉ねぎに酢をまぜておく。
- ② フライドポテトを油で揚げておく。
- ③ 大き目のフライパンを火にかけてよく熱し、油と唐辛子ペーストを加えて煙が出たら直ぐにロース肉を加えて炒める。焼き色が付いたら赤ワインかブランデーをかける。
- ④ ③玉ねぎ、ピーマンとトマトと醤油、玉ねぎを漬けた酢を入れて炒め、揚げたポテトも加えて混ぜ合わせ、みじん切りのコリアンダーを加える。
- ⑤ 器に入れてご飯を添える。

（すみだでらくご）  
第10回 **林家あんこ独演会**  
2024年 **12月19日(木)**  
【開演】18:30  
【開場】18:00  
特別ゲスト **太神楽 鏡味 仙志郎**  
本所地域BIG SHIP 4階 多目的ホール(墨田区本所1-13-4)  
ご予約・お問合せ先 070-9027-1537(留守番対応)  
anko.jimukyoku@outlook.jp  
(林家あんこ事務局) 前売2000円 当日2500円

**Avenue さん**  
30年間お疲れさまでした  
今までありがとうございました!  
駿河屋スタッフ一同  
創業1657年 駿河屋 墨田区向島1-24-16  
注文住宅 リフォーム 不動産 TEL0120-124-029

**あそび大学**  
キッズデザイン賞 最優秀賞受賞  
この度、あそび大学は「キッズデザイン賞最優秀賞(内閣総理大臣賞)」を受賞いたしました。子どもの健やかな成長や創造的な学びを促進する優れた取り組みに授与されるもので、「あそび大学」が高く評価されました。今回の受賞は、日頃から応援いただいている皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。  
◎評価ポイント  
子ども達が主役となり、自発的に考え行動する視点が明確で、支えるプログラムも完成度が高い。企業、大学、自治体、NPOの連携で、子ども達が考え、作り、選挙も行う等多面的な取り組みは、最優秀賞にふさわしい。  
◎キッズデザイン賞とは?  
子どもの未来が持続的で明るいものであるように、「子ども達が安全にそして安心して暮らす」「子ども達が感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・サービス・空間・活動・研究の中から、子どもや子育てに関わる社会課題解決に取り組む優れた作品を顕彰するものです。  
あそび大学は、さらに多くの子ども達の日常にあそびの場を届けるため、クラウドファンディングを実施しております。皆様のご支援が子どもたちの笑顔を支えますので、ご協力をお願い申し上げます。  
■問合せ先/あそび大学 事務局  
メールアドレス: info@asobidaigaku.jp  
公式ウェブサイト: https://www.asobidaigaku.jp

**秋号の編集室だより**  
とうとう、最後の編集室だよりになりました。最後の特集は「すみだ保健子育て総合センター」です。そして最終号は期せずして子育てメインとなりました。お世話になった方にご登場願いましたが、小さな紙面と限られた文字数で四苦八苦でした。あの方も、あの方も思い出が走馬灯の様に頭をグルグルと。  
今回、282号の全てを見直して愛するすみだの貴重な資料であったことを誇りに思います。  
影武者に徹してAvenueづくりをしてくれた、二男の裕司には感謝しかありません。一生(残り僅かですが)頭が上がりません。皆様、本当にありがとうございました。また、どこかでお会いする事を楽しみにしています。

**匠** デリケートな日本の「食」を側面から支えて105年  
食品対応樹脂カスリ 特許取得済 食品用切刃のプロフェッショナル  
製麺機切刃・水産練り製品スリッター・葛きり切刃・その他カッター及びスリッター  
TEL03(5631)2233 FAX03(3611)4312  
MEISEI co., LTD 株式会社 明 正  
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-8-5  
http://www.kanekoss.co.jp/  
E-mail info@kanekoss.co.jp

夢を夢で終わらせない信用金庫  
**東京東信用金庫**  
https://www.higashin.co.jp/  
東京東信用金庫 マスコットキャラクター **ひがぴょん**  
墨田区のひがしん  
本店 東京都墨田区東向島 2-36-10  
隅田支店 東京都墨田区墨田 3-41-12  
吾妻支店 東京都墨田区京島 3-68-8  
本所支店 東京都墨田区石原 4-18-5  
押上支店 東京都墨田区文花 1-7-4  
両国支店 東京都墨田区両国 4-35-9  
駒形支店 東京都墨田区東駒形 3-19-8  
錦糸町支店 東京都墨田区太平 3-3-8  
八広支店 東京都墨田区八広 1-32-7

**ひがしん異業種情報研究会**  
ひがしんグループ  
信用メンテナンス株式会社  
ひがしんビジネスサービス株式会社  
ひがしんリース株式会社 みのり株式会社  
システム運輸株式会社 プラス保証株式会社